

富士市の認知症支援

認知症はだれにでも起こり得る身近な脳の病気です。社会全体で認知症への理解を深めましょう。市は、認知症の人を支援するためのさまざまな事業を行っています。

とき(全12回)	ところ	申込開始日
6月19日からの毎週金曜日	フィランセ	6月3日(水)
10月12日の毎週木曜日	ふじかわ保健センター	9月19日(土)
12月12日の毎週月曜日	広見まちづくりセンター	11月19日(木)

定員 30人(先着順)
申し込み 申込開始日以降に、直接または電話で富士市高齢者地域包括支援センターへ
 ☎(66) 3405

楽しく運動することは、認知症の半数以上を占めるアルツハイマー病の発症をおくらせる効果があります。この教室では、簡単なゲームや体操、作品づくりなどを行い、仲間と楽しい時間を共有することで、脳の活性化を図ります。

対象 おおむね65歳以上の人で、「最近物忘れがふえた」「外出の機会が少なくなった」と感じている人



認知症を予防するために 脳の健康教室

「認知症」は、「アルツハイマー病」や「脳血管障害」などが原因で、物事を記憶したり判断したりする機能が低下し、日常生活に支障が出ている状態を言います。

一般的に、高齢者に多く見られ、2020年には全国でおよそ300万人が認知症になると推計されています。

徘徊高齢者探索事業 料金体系(税込)

料 金	市民税課税世帯	市民税非課税世帯
契約時	加入料金	5,250 円
	付属品(充電器)	2,100 円
	月額基本料金	525 円
利用ごと	位置情報提供料金	210 円
	現場急行料金	5,250 円

在宅介護をする家族を支援します
徘徊高齢者探索事業

認知症の人が徘徊して行方不明になったときのために、居場所を確認できる機器を家族に貸し出します(位置情報提供サービス)。居場所がわかっても家族がすぐに現地に行けない場合は、専門のスタッフが駆けつけて安全確認を行います(現場急行サービス)。

「認知症について知りましょう」
認知症サポーター養成講座

「キャラバン・メイト」と呼ばれる講師が、認知症の人との具体的な接し方や基礎知識などについて説明します。

認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り応援する**認知症サポーター**をふやすことで、「認知症になっても安心して暮らせる富士市」を地域住民の手でつくっていくことを目的としています。

キャラバン・メイトを派遣しますので、地域や職場の皆さんと、介護保険課までお申し込みください。



講座参加者には、認知症サポーターのしるし「オレンジリング」をお渡します

認知症SOS相談窓口

認知症は早期診断・早期治療が非常に重要です。介護などの悩みを一人で抱えずに、お気軽にご相談ください

	相談窓口	連絡先
公的機関	介護保険課	永田町 1-100 (市役所 4 階北側) ☎55-2767
	富士市高齢者地域包括支援センター	本市場 432-1 (フィランセ東館 2 階) ☎66-3405
	富士市東部地域包括支援センター	増川新町 12-1 ☎39-1300
	富士市北部地域包括支援センター	一色 218-10 ☎23-0303
	富士市西部地域包括支援センター	横割本町 2-17 ☎65-8839
	富士市西部地域包括支援センター 富士川支所	岩淵 137-1 (ふじかわ保健センター) ☎81-4820
認知症専門医療機関	鷹岡病院	天間 1585 ☎71-3370
	富士メンタルクリニック	本町 1-2-201 ☎64-7655
(社)認知症の人と家族の会	静岡県支部「すぎなの会」 定期相談日 毎週土曜日 10:00~15:00	本市場 432-1 (フィランセ東館 3 階) 福祉団体活動室 ☎64-9042